

ひまわり

10 2018
OCT

～きょうされん全国大会in京都特集号～



ケロポンズのステージに立ちました！！

もくじ

- 2・3 情勢 ～夢ある未来へ京都から～
- 4・5 私達もみんなで参加してきました！
- 6 おもてなしにかかわって

社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

夢ある未来へ京都から

～第41回きょうされん全国大会in京都の
成果とここから伝えていきたいこと～

檜原卓治

TAKUJI NARAHARA

第二かめおか作業所 主任
(大会事務局次長 組織部統括)

9月21日～22日の2日間にわたり、きょうされん第41回全国大会in京都が国立京都国際会館にて盛大に行われました。

京都で大会が行われるのは19年ぶり。全国からの参加申し込みは、障害のある当事者約2000人を含む4500人のべ800人以上のボランティアの協力もあり、国際シンポジウムの一般参加者、関係者を含めると、実に5500人が京都に集い、歴史に残る大きな大会として成功を収めることができました。

今大会は京都支部のこれまでの活動の中で幅広くつながってきた43の団体、個人で実行委員会が構成されたことで、より一層「誰もがあたりまえに生きる」ことをたくさんの方々と共に確かめ合える大会となりました。

天気は心配されましたが、そんなことはなんのその。全国から続々と押し寄せる人、人、人！メインホール、アネックスホールは溢れんばかりでした。

オープニングセレモニーでは、府下の仲間が一生懸命練習をしてきた開幕太鼓で幕が開きました。半被にねじりはちまき、笑顔がいっぱいでした。その後、映像と劇で京都の「共同作業所づくり」の歩みを参加者と共に振り返り、創ってきた歴史に学びを深めました。未来へつなぐ仲間のメッセージを願いの葉っぱに込め、会場全体に映し出し、会場が森とな

り、一本の大きな願いの木になったのは圧巻でした。「給料がもつとほしい!」「大好きな人とずっと一緒にいたい!」「そんなたくさんの願いがあたりまえとなるよう、気持ちが一層高まりました。」

ともに未来を創ろう!

京都府、京都市をはじめ、国会議員、各団体からのたくさんの来賓のもと、開会式が執り行われました。

きょうされん専務理事 藤井克徳氏による基調報告では、『京都から始めていこう!』と、今、私たちを取り巻く情勢、問題にしっかりと目を向けることの大切さを述べられ、「憲法と障害者権利条約をしっかりと社会のすみずみに届けよう!」そして、「京都は障害児教育発祥の地、権利を守り抜き、人を大切にしてきた歴史に学び、ともに未来を創ろう!」と力強く語られ、参加者の気持ちが一層高まりました。

今大会のメイン企画「公開国際シンポジウム」では、日本が批准して5周年の節目にあたる障害者権利条約の値打ちと役割を国連障害者権利条約特別委員会の元議長であるドン・マッケイ氏、国連障害者権利条約の前委員長であるマリア・ソリダード氏のお二人を招き、多くの府

民の皆さんとともに学び、交流しました。条約の採決に直接貢献いただいたお二人をゲストに招くことは、全国各地から早くに注目と期待を集めていました。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」のスローガンが物語るように、真の障害者権利条約の役割は何なのでしょか。他の者との平等を基礎とした条約を地域のすみずみに、そして「権利条約が定着した今、すべての政府と社会が実施していくことが重要で、そのためには障害者団体による行動が必要です。私はきょうされんの取り組みを高く評価しています」と語ったドン・マッケイ氏の言葉にさらに全国大会開催の意義を感じずにはいられませんでした。



基調報告をする藤井克徳氏



大変盛り上がったケロボンズさんのステージ

ケロボンズ、着付け体験等、 楽しみがたくさん！

一方の仲間企画では、エビカニクスで有名なケロボンズが登場！体を使って楽しめる遊び歌や、もちろんエビカニクスも披露。会場に入りきれないほどの仲間たち、一部はモニター越しに見ることに。超満員で歌って踊って、会場全体が熱気にあふれ、揺れ動くほど。ステージにも仲間が上がり超盛り上がり、大興奮のうちにケロボンズ公演は終了しました。熱気が冷めやらず、ケロボンズ、なかまのパワーに「す、すごすぎる・・・」とつぶやきが出る

ほどでした。その後は様々な分散企画で、染物体験や抹茶、お菓子で京都を感じる企画、京都といえは着物！と着付け体験までそれぞれが楽しめる企画となりました。仲間のたくさんの満面の笑顔にみんなが元気になる瞬間でした。

夜のお楽しみはなんととっても大交流。900名以上の参加で舞妓さんによる舞やお酌、存分に京都を味わってもらおう企画となりました。そして、着付け体験で着物姿になったメンバーのファッションショー！レッドカーペットのランウェイ。なかまのポーリングもなんと様になっていて、みんなくぎ付けでした。この日のために練習を積んで臨んだ吉本新喜劇風時代劇も会場が笑いの渦に包まれ大成功！笑いが絶えず、全国の皆さんとめいっばい交流できたひと時でした。

つながりを財産に 夢ある未来へ！

2日目は分科会と仲間観光。全国大会の柱である学びが各分野に分かれて開催されました。各分科会では「誰もがわけへだてなく自分らしく生きていける地域社会」をめざして

学びを深めあいました。利用者フォーラムでは歌あり、ものづくり体験あり、伝統芸能の狂言も堪能。観光では古都京都を感じてもらい、見て、作って、食べて、感じて、たくさん笑顔がひろがりました。会館の中では自主製品販売やグッズ販売も行われ、展示もいっぱい。どこにいても全国大会を感じられました。閉会式では、「京都の熱い思いを愛知へつなぎ、未来を創る！」と次期開催地の愛知へ力強くバトンをつなぎ、閉会しました。



次回開催の愛知へ大会ペナントが引き継がれました

2日間を通じて、たくさん笑顔からは「京都にきてよかった！」「元気になった！」を実感できたの

ではと思います。全国のたくさんの人々がつながりの中で大いに学び、交流できたこと。これこそが全国大会なんだと実感します。5500人が京都で集えたこと、海外ゲストを招き、シンポジウムを開催できたこと、たくさん協賛や後援をいただいて、笑顔あふれる企画を成功できたこと、ボランティアをはじめたくさん関係者と手をつなぎ大会が行えたことなど、あげればたくさん成功がこの全国大会にはありました。何より、このつながりが大きな大きな財産となり、京都の、全国の未来を切り開く力となるはずです。歴史に学び、未来へつなぐ。まさに大会のテーマである「ともに生きる」とも創る 夢ある未来へ 京都から」の大きな一歩を踏み出しました。これから『夢ある未来を京都から』創っていきましょう。

大会成功にお力添えいただきました皆様、誠にありがとうございました。

